

令和3年度青少年赤十字加盟校への提供プログラム実施要領

青少年赤十字加盟校に対し、学校教育をサポートする青少年赤十字の活用方法として、特殊な技能を持った赤十字奉仕団及び職員による実施可能なプログラムを、無償で提供しております。ぜひ、ご活用ください。

なお、青少年赤十字に加盟いただいていない学校におかれましても、加盟登録いただくことで活用いただけますので、ご検討をお願いいたします。

1. プログラム内容

- 健康安全プログラム
- 防災教育プログラム
- 福祉教育プログラム
- 国際理解・平和プログラム

※詳細は別紙「提供プログラムの具体的な内容について」をご確認ください。

2. 実施対象

兵庫県内の青少年赤十字加盟校

青少年赤十字への加盟登録が**必須条件**となります。詳細につきましては、下記お問合せ先までご連絡をお願いいたします。※加盟登録は無料です。

3. 実施時期

随時（他の行事と重複する場合はお断りする場合があります。）

4. 実施回数

各校、年度あたり**2回まで**（3回目からは派遣費用が必要となります。）
また、同一プログラムでの実施は年度あたり**1回まで**とさせていただきます。
※実施を希望される学校が多いため、ご理解ご協力をお願いいたします。

5. 所要時間

原則最大2時間（2時間を超える場合は、派遣費用が必要となります。）

※AEDを使った心肺蘇生を希望される場合は、1～2時間の時間設定をお願いいたします。
（特に人工呼吸の練習を含む場合は、1時間以上の時間設定をお願いいたします。）

6. 実施経費

講師等の**派遣費用は無料**です。（実施回数内の場合）

※プログラムにより教材費をご負担していただく場合がございます。

（人工呼吸用吹き込み器具@157円(税込)、三角巾@250円(税込)など）

※健康安全プログラムについては、指導員の上限を3名としているため、4名以上の指導員を希望される場合は、派遣費用（1名につき、2,600円）がかかります。

※心肺蘇生法の講習には特例（追加派遣費用免除）がありますので、ご相談ください。

7. お申込み方法

- ①青少年赤十字提供プログラム実施申請書（様式1）をご記入のうえ、実施希望日の3カ月前までに FAX もしくはEメールにて下記お問合せ先までお送りください。
- ②申請書の提出後、日程等の調整を行い、奉仕課よりご連絡いたします。

※様式は日本赤十字社兵庫県支部ホームページからもダウンロードできます。
<https://www.hyogo.jrc.or.jp/school/program/>

※令和3年度の申請については、令和3年1月より受付を開始しております。

8. 注意事項

- ・電話での申し込みは受け付けておりません。日程の事前確認は可能です。
- ・派遣者の日程調整等が必要なため、実施日前2カ月を切りますと、日程の変更等をお願いする場合がありますのでご了承ください。
- ・プログラムによっては、内容等の調整が必要になる場合がありますので予めご了承ください。
- ・災害発生時等、当日であっても提供プログラムの実施を中止することがありますので、予めご了承ください。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策により、一部内容を制限しております。詳細については、別紙「コロナ禍での提供プログラムの実施について」をご確認ください。

- ・過去の提供プログラムの実施状況は、日本赤十字社兵庫県支部ホームページでご覧いただけます。

<https://www.hyogo.jrc.or.jp/school/program/>

- ・一次救命処置について学べる動画は、日本赤十字社本社ホームページでご覧いただけます。（指導にご協力いただける方におかれましては、講習実施前に必ずご覧ください。）

<http://www.jrc.or.jp/activity/study/safety/>



■お問合せ先・担当

日本赤十字社兵庫県支部 事業部奉仕課
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-4-5
TEL：078-241-8922 FAX：078-241-6990
Eメール：ho-shi-ka8922@hyogo.jrc.or.jp

提供プログラムの具体的な内容について

1. 健康・安全プログラム

・内容例

①救急法

(1) AEDを使った心肺蘇生

講習用人形を使い、一次救命処置（心肺蘇生やAEDの使い方）の実技を行います。

(2) 三角巾を使ったきずの手当

止血の方法や三角巾を用いた基本的なきずの手当の実技を中心に行います。

(3) 搬送の実習

担架を使用した搬送や、毛布を使用した搬送などの実技を行います。

②幼児安全法

(1) AEDを使った心肺蘇生

講習用人形を使い、乳幼児に対する一次救命処置（心肺蘇生やAEDの使い方）の実技を行います。

・対象者：児童・生徒・教職員 等

・対象人数：1クラス～

・実施場所：体育館、多目的室等

・活用領域：保健体育、総合的な学習の時間、部活動の時間、委員会活動など

※派遣できる指導員は基本3名（受講人数概ね30名につき指導員1名）を上限としておりますので、先生方も指導にご協力いただきますようお願いします。

※指導員の手配や資材に限りがあることや、毎年6月～7月は講習依頼が集中することにより、ご希望に添えない場合がありますので、予めご了承ください。

「救急法競技大会」開催

日本赤十字社兵庫県支部では「第1回兵庫県青少年赤十字救急法競技大会」（仮）を開催いたします。

この競技大会は、応急手当や救命手当の習熟を通して「救急法」の普及啓発を図り、安全意識の向上や、事故・災害時に互いに助け合うことを目的として実施するものです。

改めてご案内させていただきますので、ご検討をよろしくお願いいたします。

2. 防災教育プログラム

・内容例

(1) 防災の基礎知識を身に付けるためのプログラム（オンラインでの実施も可能です！）

・東日本大震災や熊本地震、豪雨災害における赤十字の災害救護活動について（講演）

・災害から身を守るための学習（講演）

・対象者：児童・生徒・教職員 等

・対象人数：1学年もしくは複数の学年で実施

・実施場所：教室、体育館、Zoomを使用したオンライン等

・活用領域：社会科、総合的な学習の時間、委員会活動、学校行事など

3. 福祉教育プログラム

・内容例

- (1) ブラインドウォークとガイド体験
視覚障がい者の案内・誘導の学習
- (2) 点字講習
点字についての基礎知識の習得および点筆・点字器を使ったの実習
- (3) 視覚障がい者による講演
(1)～(2)に併せて、視覚障がい者による講演を実施することも可能です。
※ただし、講師の都合により、日時等の調整が必要な場合があります。

- ・対象者：小学生（中・高学年）、中学生、高校生等
- ・対象人数：40人程度を基本とします。
- ・実施場所：教室、学校内等
- ・指導者：日頃から視覚障がい者に対するボランティア活動へ従事している赤十奉仕団員が指導にあたります。
- ・活用領域：福祉、道徳、総合的な学習の時間、委員会活動など

4. 国際理解・平和プログラム

・内容例

- (1) 国際活動に参加した赤十字職員による救援活動や子ども達の状況についての講演

- ・対象者：児童・生徒等
- ・対象人数：学年、クラス
- ・実施場所：教室、体育館等
- ・活用領域：道徳、人権・平和学習、社会科、外国語、総合的な学習の時間など

※「国際理解・平和プログラム」については、派遣者が少数で、海外派遣中の場合もあるため、3カ月以上前の申請であっても実施日等のご希望に添えない場合がありますので予めご了承ください。

コロナ禍での提供プログラムの実施について

制限内容

1.対象人数

基本的に25名以内を定員とする。

ただし、体育館など広いスペースが確保できる場合、人数は要相談。

2.実施場所

広いスペースが確保でき、換気が可能な場所。

3.実施内容

①健康安全プログラム（一次救命処置）

- ・原則として事前に一次救命処置の動画を視聴していただき、実技は胸骨圧迫とAEDの使用のみとする。吹込み（人工呼吸）の練習は行わない。
- ・1グループ（人形1体）につき、原則5名以内とし、実施者以外はソーシャルディスタンスを確保する

②健康安全プログラム（三角巾を使ったきずの手当）

- ・ペアでの実技を行わないため、1人で実施できる内容とする（直接圧迫止血・下腿・ひざ・足首の固定）
- ・ソーシャルディスタンスを保つため、指導員1人につき受講者は10名程度とする

③その他のプログラム内容については要相談。

4. 感染対策

- （1）提供プログラム実施中のマスクの着用（各学校・個人で準備をお願いします。）
- （2）必ず講習会場入り口での手指消毒（各学校で消毒用アルコール等の準備をお願いします。）
- （3）健康管理として、受講者の健康チェックシートの記入

※一次救命処置は、おおよそ1時間で実施可能なため受講者が多い場合は、参加者を入れ替え2回に分けての実施も可能としています。（講習時間は最大2時間とする。）

※新型コロナウイルスの感染状況により、制限内容を変更することがありますので、予めご了承ください。また、変更については日本赤十字社兵庫県支部ホームページにてご案内します。

FAX 078-241-6990

(様式1)

申請日 令和 年 月 日

日本赤十字社
兵庫県支部事務局長 様

学校名 _____

学校長名 _____

青少年赤十字提供プログラム実施申請書

標記の件について、下記のとおり実施を希望いたします。

記

プログラム名	<input type="checkbox"/> 健康・安全プログラム <input type="checkbox"/> 防災教育プログラム <input type="checkbox"/> 福祉教育プログラム <input type="checkbox"/> 国際理解・平和プログラム		
実施希望日時 ※第3希望まで ご記入願います。	第1希望： 年 月 日() : ~ :	第2希望： 年 月 日() : ~ :	第3希望： 年 月 日() : ~ :
	<u>※申請日から3ヶ月以上あいていることをご確認ください。</u>		
対象者		対象人数	名 (クラス数：)
貴校教職員等における指導協力者数	名		
実施場所			
連絡先	住所：〒 -	TEL： E-mail：	FAX： 担当者職・氏名：
希望内容 要望事項	<u>※AEDを用いた心肺蘇生で人工呼吸の練習を希望する場合は、1時間以上の時間設定が必要です。</u>		
達成目標			

支部記入欄

実施決定日時	年 月 日() : ~ :
--------	----------------

※本プログラムは青少年赤十字加盟校のみご利用いただけます。当該年度の加盟更新がまだお済みでない学校は、加盟登録票のご提出をお願いいたします。

※詳細については、別紙「コロナ禍での提供プログラムの実施について」をご確認ください。